

第102回埼玉県小児保健協会研究会実施要項

昨年度に開催した第100回記念研究会では、本会が重点を置いてきた乳幼児健診について、今年度から自治体の事業として実施される「1か月健診と5歳児健診」をテーマに取り上げました。乳幼児健診の主な目的は、「子どもの健康状態の把握」と「発育・発達の支援」、そして「育児に関わる保護者への相談やサポートの提供」です。健診後のフォローアップ・支援は健やかな子どもの成長・発達、保護者の子育て等に関して非常に重要なものです。

今回の研究会では、特に3歳児健診後のフォローアップ体制や現場での取り組みの状況等について、関係機関の方からご報告いただきます。情報の共有とともに参加者の皆様に、子ども達と保護者への支援について考える時間にしたいと考えております。

記

1 日 時:令和7年11月2日(日)12:30～15:30 開場12:00～

2 会 場:埼玉県立小児医療センター 6F 講堂

さいたま市中央区新都心1番地2

さいたま新都心駅西口より徒歩約5分、北与野駅から徒歩約6分

3 プログラム:

1)開 会 12:30

2)挨 拶

3)講 演 テーマ「3歳と5歳の間に寄り添う支援

～健診の間に、子どもたちはグンと育つ。様子見だけでは終わらせない。～」

講演①:「3歳児健診から5歳児健診へつなげるためのポイント」 12:35～13:05

講師:埼玉医科大学総合医療センター小児科 教授 是松 聖悟 氏

講演②:「自治体における乳幼児健診後のフォローアップ体制・工夫」 13:05～13:55

(1)規模の大きな自治体における体制・工夫

講師:川口市保健所地域保健センター地域保健第1係 保健師 鈴木 彩水氏

(2)規模の小さな自治体における体制・工夫

講師:小川町子育て支援課 主席主査 遠野 和歌子氏

講演③:「療育の必要な例の評価と療育の実際」 13:55～14:35

講師:さいたま市療育センターひなぎく 後藤 珠子 氏

講演④:「集団保育場面での気づきと対応」 14:35～15:05

講師:川越双葉幼稚園 教務主任 澤田 澄世 氏

南双葉幼稚園 教務主任 関 敦美 氏

4)ディスカッション 15:05～15:25

5)閉会・アンケート記入 15:30

4 後 援(予定):日本小児保健協会・埼玉県・埼玉県医師会・埼玉県小児科医会

5 定 員:80名

6 申込み:事前申込みなし

7 参加費:会員 無料、非会員 1,000円

8 その他

- 1) 発熱等体調不良の方は、参加をご遠慮ください。
- 2) 2階正面玄関において体温測定を実施します。
- 3) マスクの着用、手指消毒を行ってから会場に入室してください。